

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	インテリア設計 I	担当教員	藤田大輔		
学年学科	3年 建築学科	前期	必修	1 単位	
学習・教育目標	(D-4) 100%				
授業の目標と期待される効果： 本授業の目標は、室内を構成している家具と室空間の設計能力を養うことである。室空間の設計能力は、インテリア設計士 2 級実技試験（日本インテリア設計士協会）と同程度の課題内容を課す。具体的には次に示す通りである。 ①インテリア設計に関する企画力 ②日常的に利用している家具や室内空間を意識したデザイン能力 ③自らの意図を作品にする能力 ④設計意図を説明する能力	成績評価の方法： 第一課題：100点、第二課題：100点、計200点に占める得点率で評価する。ただし、一つでも未提出の課題がある場合は、不合格とする。また、課題提出は時間厳守とし、期限に遅れた場合は減点とする。				
	達成度評価の基準： 第一課題および第二課題を通して下記の達成度を基準とする ①課題の趣旨を理解し、企画を立てることができる。 ②創造的かつ整合性のある計画ができる。 ③デジタルツールを用いた美しい表現ができる。 ④的確に意図を伝えるプレゼンテーションができる。				
授業の進め方とアドバイス： 1. 授業の進め方 ・各課題は、必要に応じてグループワークとすることがある。 2. 単位を取得するためのアドバイス ・各自が作業計画を立て、提出期限を厳守すること。 ・議論では建設的な意見を心がけること。 ・CAD室等を活用して、積極的に情報機器を利用し、技能習得に努めること。 ・各自が建築以外に興味のある分野と、家具や室空間の関係を考えてみること。 ・雑貨や家具、空間等の機能とデザインの関わりを常に考え、作品を観ること。					
教科書および参考書： ・日本建築学会編 コンパクト建築資料集成（丸善） ・各種建築・雑貨等の雑誌・書籍					
授業の概要と予定： 前期 第1回：第一課題 家具の設計：課題提示、趣旨説明 第2回～第7回：設計の進捗状況チェックと指導 第8回：第一課題講評会・第二課題 室空間の設計：課題提示、趣旨説明 第9回～第14回：設計の進捗状況チェックと指導 第15回 第二課題 講評会・フォローアップ（課題を返却し、評価方法の説明・講評を行う）					